

PASSION
FOR THE
BEST

大和証券

Daiwa Securities

秋田支店

〒010-0001 秋田市中通4丁目5番2号

家づくり、夢づくり、人生物語のパートナー

株式会社 丸臣高久建設



〒012-0823 秋田県湯沢市湯の原2-2-51
Tel: (0183) 73-2889
Fax: (0183) 72-0185
E-mail: info-marushin@ie-monogatari.jp

URL: www.ie-monogatari.jp

秋田県指定重要文化財阿弥陀如来像安置
秋田三十三観音霊場 九番札所
ペット供養 ペット火葬 納骨

浄土宗 東安山誓願寺

住職 栗山晃英

019-0112

秋田県湯沢市下院内字新馬場158

TEL: 0183-52-3020 FAX: 0183-52-3207

E-mail: seiganji-kuriyama@jewel.ocn.ne.jp

レストラン Grandoor



湯沢グランドホテル 湯沢市材木町1-1-1
TEL 0183-72-3030

創業万延元年(1860年)

稲庭干温 製造・発売元 (有)佐藤養助商店

秋田県湯沢市稲庭町字稲庭229

TEL 0183 (43) 2226

FAX 0183 (43) 2812

佐藤養助

検索

偏屈おやじの店

ジジは、創業以来ずっと無添加・手づくりパン



手づくり無添加パンの店

JiJi

tel.0182-36-7118

横手市寿町8-27

AM9:00~PM4:30 毎週水曜・木曜 定休

第67回ミュンヘン国際音楽コンクール ピアノ三重奏部門 (2018年) 優勝

若き新鋭たちが織りなすピアノトリオの醍醐味



葵トリオ

Aoi Trio Recital



2021.6/6 [日] 14:30 開演 (14:00 開場)
雄勝文化会館 オービオン

◆主催: コンサート倶楽部ゆざわ

◇共催: 湯沢市教育委員会・湯沢市民管弦楽団

◇助成: 公益財団法人朝日新聞文化財団

◇協力: 日本音楽財団

◇後援: 湯沢市・湯沢市芸術文化協会・秋田魁新報社・ABS秋田放送・(株)エフエムユーとぴあ・湯沢雄勝吹奏楽連盟

Program

モーツァルト：ピアノ三重奏曲第4番 変ロ長調 K.502

C.サン＝サーンス：ピアノ三重奏曲第1番 ヘ長調 作品18

————— ・ ————— 休 憩 ————— ・ —————

メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲第2番 ハ短調 作品66

Program Notes

モーツァルト：ピアノ三重奏曲第4番 変ロ長調 K.502

この曲は1786年モーツァルトが30歳の時に作曲された。この年はピアノ協奏曲第23～25番、「フィガロの結婚」、交響曲第38番「ブラハ」などの代表作が書かれており、音楽的生涯のうちで輝かしい成果を残した年であったが、三男の死や金銭面での苦労など私生活に陰りが見え始めた年でもあった。ピアノ協奏曲のようにピアノのパスセージが華やかで、また3つの楽器の対話も楽しめる作品となっている。

第1楽章：ソナタ形式。基本的に愛らしくお茶目さや無邪気さが感じられる。

第2楽章：ABACA+コーダの小ロンド形式。深い感情のこもった壮麗で晴れやかな旋律が非常に美しい楽章。

第3楽章：自由なロンドソナタ形式。主題が大規模に展開されていくが室内乐的な精微さももつ。

C.サン＝サーンス：ピアノ三重奏曲第1番 ヘ長調 作品18

2021年は、カミーユ・サン＝サーンス(1835～1921)の没後100周年にあたる。パリ生まれで作曲家、ピアニスト、オルガニスト、指揮者として国際的に活躍した音楽家。また、文筆家としても活動し、1870年代以降は音楽批評家として多くの記事を書いている。当時のフランスでは冷遇されていた交響曲や室内楽、協奏曲を積極的に作曲、国民音楽協会を開設するなど、フランス音楽史に大きな足跡を残した人物である。

1863年から64年にかけて作曲されたピアノ三重奏曲第1番は、流麗なピアノ、澁刺とした旋律、生き生きとしたリズムの掛け合いなどに溢れた、大変色彩豊かで快活な作品である。

第1楽章：淀みなく流れるピアノ、快活な主題による色彩豊かで開放的な楽章。

第2楽章：複付点のリズムによる悲哀の帯びた、どこか古代の情景が思い浮かぶ主題と、それに対する感情溢れる旋律と、リズムから解き放たれた開放的な中間部からなる緩徐楽章。

第3楽章：弦楽器のPizzicatoやリズムが効果的に使われた、ユーモラスなスケルツォ。

第4楽章：ヴァイオリンとチェロの優しい対話、流麗なピアノからなる澁刺としたフィナーレ。

メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲第2番 ハ短調 作品66

メンデルスゾーンはピアノ三重奏曲を2曲作曲したが、死の2年前に書かれたこの第2番は作曲家でヴァイオリニストのルイ・シュポアに献呈された。1845年頃におそらくライブツィヒで書かれたとされている。旋律主導の第1番に対して、形式や構造に重点を置いたこの第2番は、全体を通して壮大な建築物を想起させるような作品となっている。またハ短調という調性に似つかわしく、情熱に満ちたドラマティックな音楽となっている。

第1楽章：暗い情熱が渦巻くような第1主題と、伸びやかで開放的な第2主題が対照的に交代し、エネルギーに展開していく。

第2楽章：まずピアノが主題を奏で、弦楽器がそれに呼応するように穏やかで美しい旋律を歌い上げる。この作品で唯一のゆったりとした楽章で、どこまでもロマンティックな旋律が紡がれる。

第3楽章：メンデルスゾーンの名曲の一つである「真夏の夜の夢」序曲を連想させるような、疾走感のあるスケルツォ楽章。

第4楽章：情熱的なフィナーレ。冒頭の主題は、ブラームスのピアノソナタ第3番の第3楽章でも引用されたと考えられている。展開部では静かで崇高なコーラルが突如出現する。このコーラルは終盤で壮大なものへと姿を変え、クライマックスへと昇華する。

(文責：葵トリオ)



『「とても高い個々の技術を備えた3人の素晴らしい奏者」、そして『ピアノ三重奏としてのサウンドと精神』。優れたピアノ三重奏を形成するこの2つの要素が、完璧なバランスでした。』——ヴァンサン・コック(トリオ・ヴァンダラー／ピアニスト)＜音楽の友＞——

「幅広いレパートリーで、類まれなほど多才であり、優れた洞察力を伴った演奏を披露。」——＜The Strad＞——

「若く秀逸な葵トリオが幅広い音楽を披露。エネルギーに満ちた技巧的な演奏で、ヨーロッパからアジアにわたる、古典から現代作品までを展開。」——＜Deutschlandfunk＞——

第67回ミュンヘン国際音楽コンクールのピアノ三重奏部門で、日本人団体として初の優勝を受賞した、現在最も注目を集めるピアノ三重奏団。東京藝術大学、サントリーホール室内楽アカデミーで出会い、2016年に結成。「葵/AOI」は、3人の名字の頭文字をとり、花言葉の「大望、豊かな実り」に共感して名付けた。

好評を博したサントリーホールでのコンクール優勝記念公演に続き、これまでにトツパンホール、紀尾井ホール、フィリアホール、びわ湖ホール、宗次ホール、ふきのとうホール、兵庫県立芸術文化センター、アトリオン秋田、アクトシティ浜松、ミュンヘン、パイロイト、バーデン＝バーデン、ケルン、ヒッツァッカーフェスティバルなどに出演。

今シーズンはあいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール、びわ湖ホール、宗次ホール、レーゲンスブルク、ハンブルク、その他イタリアやフランスなどヨーロッパ各地で出演予定。2021年1月には札幌交響楽団とベートーヴェンの三重協奏曲で協演。同年12月には名古屋フィルハーモニーとカゼッラの三重協奏曲の協演が予定されている。

マイスター・ミュージックから「ハイドン27番&シューベルト2番」と「ベートーヴェン1番&メンデルスゾーン2番」の2枚のCDをリリースしており、両ディスクともレコード芸術誌で特選盤に選ばれて好評を得ている。

第28回青山音楽賞、バロックザール賞、第29回新日鉄住金音楽賞フレッシュアーティスト賞(新日鉄住金音楽賞は2019年4月より日本製鉄音楽賞に改称)受賞。

これまでに伊藤恵、中木健二、花田和加子、原田幸一郎、堀正文、松原勝也、山崎伸子に学ぶ。現在はドイツを拠点に、ミュンヘン音楽・演劇大学でフォーレ四重奏団のD.モメルツに師事しながら国内外で活動している。

▷公式ホームページ: <http://aoitrio.com/>

(2021年2月現在)

ピアノ：秋元 孝介 Piano: Kosuke Akimoto

東京藝術大学を経て、同大学院音楽研究科修士課程修了。第2回ロザリオ・マルシアーノ国際ピアノコンクール第2位、第10回パデレフスキ国際ピアノコンクール特別賞などを受賞。各地でソロリサイタルを開くほか、オーケストラとの共演や室内楽公演、アウトリーチ活動も積極的にを行っている。サントリーホール室内楽アカデミー第3期フェロー。現在は東京藝術大学大学院博士課程に在籍しながら日本とドイツで演奏活動を行っている。



ヴァイオリン：小川 響子 Violin: Kyoko Ogawa

東京藝術大学を経て、同大学院修士課程修了。第10回東京音楽コンクール第1位、聴衆賞を受賞。国内の多くのオーケストラと協演するほか、小澤征爾、アンネ＝ゾフィ・ムター、原田幸一郎、磯村和英、池田菊衛、小山実稚恵、山崎伸子、川本嘉子と共演。サイトウ・キネン・オーケストラに参加。サントリーホール室内楽アカデミー第3期、第4期フェロー。2021年3月までベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミーに在籍。



チェロ：伊東 裕 Cello: Yu Ito

東京藝術大学を経て、同大学院修士課程修了。第77回日本音楽コンクールチェロ部門第1位、徳永賞を受賞。関西フィル、日本センチュリー、神戸市室内合奏団、藝大フィルなどと協演。小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、小澤征爾音楽塾オーケストラ、武生国際音楽祭、北九州国際音楽祭、宮崎国際音楽祭、東京・春・音楽祭などに参加。サントリーホール室内楽アカデミー第3期フェロー。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。

